

事業レビュー対象事業

・事業シート

**【第4班：子ども子育て・少子化
対策に関する事業】**

事業シート (概要説明書)		事業番号	41						
予算事業名	定住化促進事業	事業開始年度	23						
事務事業名	定住化促進・PR事業	担当局・部名	市長公室						
上位施策名	定住化支援策の実施	担当課・課名	政策秘書課						
根拠法令等		グループ係名	まちづくりG						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	埴 知栄						
実施の背景	少子化などによる自然減や若者の転出などにより、本市の人口は毎年約500人も減少している。また、人口減少に伴い、市内に存する空き家・空き地が増加している。今後このまま人口減少が進めば、社会活動や経済活動において大きな影響が出てくると考えることから、人口減少に歯止めをかける施策展開が急務である。								
目的 (何をどうしたいのか)	地域活性化及び定住促進を図るため、本市内の空き家空き地、生活環境等の情報を啓蒙PRする。								
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	行方市への移住・定住を考えている人 (主に若者・子育て世代)	対象者数 (全住民に対する割合) 人 (%)						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : 実施主体 :) <input type="checkbox"/> その他()							
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標					
		定住支援リーフレット作成・配布	112 千円	定住支援制度案内リーフレット作成					
		モニターハウス維持・管理・修繕	579 千円	市所有の空き家をモニターハウスとして利用するための修繕等					
空き家バンク制度の啓蒙		0 千円	市HP、関連イベント等での周知及び住宅展示場での案内						
協定締結	0 千円	県宅地建物取引業協会と不動産物件情報提供に関する協定締結							
関連事業 (同一目的事業等)									
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)				
	事業費合計	4,313 千円	691 千円	921 千円	264 千円				
	事業費内訳 (平成26年度分)	定住支援リーフレット作成費 111,996円 モニターハウス維持管理修繕費 579,084円							
	年度	27年度		26年度		25年度			
	担当正職員	0.4 人	1,414 千円	0.4 人	1,452 千円	0.1 人	360 千円		
	臨時職員等	0.0 人	千円	0.0 人	千円	0.0 人	千円		
	人件費合計	0.4 人	1,414 千円	0.4 人	1,452 千円	0.1 人	360 千円		
	総事業費	5,727 千円		2,143 千円		1,281 千円			
	人件費比率	25%		68%		28%			
	財源内訳	年度	27年度		26年度		25年度		24年度
国県支出金		千円		千円		千円		千円	
内容									
地方債		千円		千円		千円		千円	
その他特財		千円		千円		千円		千円	
内容									
一般財源	4,313 千円		691 千円		921 千円		264 千円		
財源合計	4,313 千円		691 千円		921 千円		264 千円		

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		定住応援助成金の相談件数		件	37 /	22 /	27 /
		空き家バンク登録申込件数		件	1 /	2 /	5 /
					/	/	/
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	円			
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	市内定住件数の増加と市外流出の防止					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		助成金利用による定住件数		件	20 / 30 67%	16 / 30 53%	6 / 30 20%
					/	/	/
					/	/	/
次年度以降 事業の方向性 (課題・改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) : 720 (千円)</p> <p>定住支援については、これまでは補助金をメインにした施策を行ってきたが、移住・定住の直接的な要因にはなっていないのが現状であり、平成26年度に制度の見直しを行った経過がある。今後は、平成27年度に配置する相談員を中心にモニターハウスを拠点として、交流人口の増加に向けた事業を積極的に展開し、市内での各種体験等を実施しながら、SNSをはじめとする各種広報媒体を駆使して移住・定住に向けたPRを行う。</p>						
	比較参考値 (他自治体 での類似事 業の例な ど)	<p>○鹿行地区(5市)の空き家の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿嶋市 7,780件 24.3% ・神栖市 7,260件 17.6% ・銚田市 3,410件 18.2% ・潮来市 1,850件 15.5% ・行方市 960件 8.5% <p>○鹿行地区の空き家バンク実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潮来市及び行方市 					
特記事項	日本全国、移住・定住に関する事業が展開されているが、本市でも重要施策として位置付けるのであれば、専門部署を設置する必要があると思われる。						

事業シート (概要説明書)		事業番号	42						
予算事業名	定住化促進事業	事業開始年度	H23						
事務事業名	定住住宅取得支援事業	担当局・部名	市長公室						
上位施策名	定住化支援策の実施	担当課・課名	政策秘書課						
根拠法令等		グループ係名	まちづくりG						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	埴 知栄						
実施の背景	少子化などによる自然減や若者の転出などにより、本市の人口は毎年約500人も減少している。また、人口減少に伴い、市内に存する空き家・空き地が増加している。今後もこのまま人口減少が進めば、社会活動や経済活動において大きな影響が出てくると考えることから、人口減少に歯止めをかける施策展開が急務である。								
目的 (何をどうしたいのか)	人口減少に歯止めをかけ、地域活性化を図るため、本市内に新たに宅地及び住宅を取得し、本市に10年以上定住する意思を有する者に対して、定住応援助成金等を交付する。								
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	行方市への移住・定住を考えている人 (主に若者・子育て世代)	対象者数 (全住民に対する割合) 人 (%)						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 : _____) <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : _____ 実施主体 : _____) <input type="checkbox"/> その他(_____)							
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費 千円						
	関連事業 (同一目的事業等)		活動指標 20件交付 取得価格の1% (上限20万円) Uターン及び子育て加算有 その他						
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)				
	事業費合計	11,370 千円	6,370 千円	10,412 千円	3,766 千円				
	事業費内訳 (平成26年度分)	定住応援助成金等 6,370,800円							
	年度	27年度		26年度		25年度			
担当正職員	0.4 人	1,414 千円	0.4 人	1,452 千円	0.5 人	1,800 千円			
臨時職員等	0.0 人	千円	0.0 人	千円	0.0 人	千円			
人件費合計	0.4 人	1,414 千円	0.4 人	1,452 千円	0.5 人	1,800 千円			
総事業費	12,784 千円		7,822 千円		12,212 千円				
人件費比率	11%		19%		15%				
財源内訳	年度	27年度		26年度		25年度		24年度	
	国県支出金	5,000 千円		2,316 千円		4,665 千円		1,559 千円	
	内容	社会資本整備総合交付金		社会資本整備総合交付金		社会資本整備総合交付金		社会資本整備総合交付金	
	地方債	千円		千円		千円		千円	
	その他特財	千円		千円		千円		千円	
	内容								
一般財源	6,370 千円		4,054 千円		5,747 千円		2,207 千円		
財源合計	11,370 千円		6,370 千円		10,412 千円		3,766 千円		

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		定住応援助成金の相談件数		件	37 /	22 /	27 /
		空き家バンク登録申込件数		件	1 /	2 /	5 /
					/	/	/
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	円			
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	市内定住件数の増加と市外流出の防止					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		助成金利用による定住件数		件	20 / 30	16 / 30	6 / 30
				件	/	/	/
					/	/	/
次年度以降 事業の方向性 (課題・改善策)	※平成28年度予算要望額(予定) : 13,000 (千円) 定住支援については、これまでは補助金をメインにした施策を行ってきたが、移住・定住の直接的な要因にはなっていないのが現状であり、平成26年度に制度の見直しを行った経過がある。 補助金交付事業については、当面、現状を維持するが、縮小・廃止についても協議していきたい。今後は、交流人口の増加に向けた事業に重点を置き、本市への移住・定住を検討する方のサポート体制を整え、移住・定住希望者の課題の解決に向けた支援を行う。 また、本市が移住・定住の選択地となるために、不足している条件が何なのかを精査していく。						
	比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	鹿行地区(5市)の実施状況 ・神栖市 … 若年世帯の安心・安全な暮らしへの家族支援策として、子育てや高齢者と同居するため市内に住宅を新築・購入した場合に、住宅取得費の一部を補助。 補助金の額: 25万円					
特記事項	日本全国、移住・定住に関する事業が展開されているが、本市でも重要施策として位置付けるのであれば、専門部署を設置する必要があると思われる。						

事業シート (概要説明書)			事業番号		79								
予算事業名	子育て支援事業			事業開始年度	平成11年度								
事務事業名	放課後児童クラブ・降園後保育事業			担当局・部名	保健福祉部								
上位施策名	子育て支援の強化			担当課・課名	こども福祉課								
根拠法令等	行方市放課後児童クラブに関する規則, 行方市降園後保育に関する規則, 行方市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例			グループ係名	子育て支援G								
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)			作成責任者	鈴木 喜政								
実施の背景	共働きの増加や核家族化が進む中で、授業の終了後、土曜日・長期休業期間中に児童を見られない家庭が増加している。												
目的 (何をどうしたいのか)	放課後、長期休業期間中に保護者に代わって児童を預かり、生活指導や適切な遊びの場を提供し健全育成をはかる。												
対象 (誰・何を対象に)	市立小学校児童 (1~6年) 1630名			対象者数 (全住民に対する割合)									
	市立幼稚園児童 (年少・年長) 225名			1,855 人 (5 %)									
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施												
	<input type="checkbox"/> 業務委託又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :)												
事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)			事業費		活動指標							
	指導員報酬			24,660 千円		指導員34名							
事業内容 (手段、手法など)	補助指導員賃金			1,293 千円		補助指導員11名							
	保険料			392 千円		傷害保険							
事業内容 (手段、手法など)	備品購入			1,198 千円		イス, テーブルほか							
	関連事業 (同一目的事業等)												
コスト	年度	27年度 (予算)		26年度 (決算見込み)		25年度 (決算)		24年度 (決算)					
	事業費合計	92,835 千円		27,543 千円		30,301 千円		30,018 千円					
コスト	事業費内訳 (平成26年度分)	指導員報酬 24,660千円 補助指導員賃金 1,293千円 保険料 392千円 備品購入費 1,198千円											
	年度	27年度				26年度				25年度			
コスト	担当正職員	1.5	人	5,000	千円	1.5	人	5,058	千円	1.3	人	5,050	千円
	臨時職員等	0.0	人		千円	0.0	人		千円	0.0	人		千円
コスト	人件費合計	1.5	人	5,000	千円	1.5	人	5,058	千円	1.3	人	5,050	千円
	総事業費	97,835 千円				32,601 千円				35,351 千円			
コスト	人件費比率	5%				16%				14%			
	年度	27年度 (予算)		26年度 (決算見込み)		25年度 (決算)		24年度 (決算)					
財源内訳	国県支出金	21,228 千円		6,226 千円		9,875 千円		10,109 千円					
	内容	子ども・子育て支援交付金 放課後児童クラブ整備補助金		放課後児童健全育成事業補助金		放課後児童健全育成事業補助金		放課後児童健全育成事業補助金					
財源内訳	地方債	35,000 千円											
	その他特財	13,004 千円		16,928 千円		14,734 千円		13,684 千円					
財源内訳	内容	利用料		利用料		利用料		利用料					
	一般財源	28,603 千円		9,447 千円		10,742 千円		11,275 千円					
財源内訳	財源合計	97,835 千円		32,601 千円		35,351 千円		35,068 千円					
	【活動指標名】			単位	H26年度 実績 / 目標	H25年度 実績 / 目標	H24年度 実績 / 目標						

事業実績	活動実績	放課後児童クラブのべ利用者数	人	42651 /		38771 /		35487 /	
		放課後児童クラブ登録者数	人	431 /		313 /		405 /	
		降園後保育のべ利用者数	人	6673 /		4083 /		4706 /	
		降園後保育登録者数	人	110 /		70 /		69 /	
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/		円				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)								
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】	単位	H26年度 実績 / 目標	達成率	H25年度 実績 / 目標	達成率	H24年度 実績 / 目標	達成率
		放課後児童クラブのべ利用者数	人	42651 / 42651	100%	38771 / 38771	100%	35487 / 35487	100%
		降園後保育のべ利用者数	人	6673 / 6673	100%	4083 / 4083	100%	4706 / 4706	100%
			/		/		/		
次年度以降 事業の方向 性(課題・ 改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) (千円)</p> <p>放課後児童クラブは年々利用児童の増加に伴って、施設がいっぱいになってきている。特に玉造キッズについては、毎日約80名前後の児童が利用し、「放課後児童クラブ運営指針」中による支援の単位を大幅に超えている。それに伴い、現在の玉造小学校には、空き教室なども無いことから、放課後児童クラブ専用建物を新築するべきと考える。</p> <p>また、放課後児童クラブの民間委託をすすめ、質の向上と、事務の効率化を図る。</p>								
	比較参考値 (他自治体 での類似事 業の例な ど)	<p>放課後児童クラブ</p> <p>鈴田市 7カ所 保育園を利用している施設あり</p> <p>潮来市 5カ所 学校を利用</p> <p>鹿嶋市 12カ所 学校を利用</p> <p>神栖市 15カ所 学校・児童館で実施</p> <p>小美玉市11カ所 学校、旧幼稚園施設で実施</p>							
特記事項									

事業シート (概要説明書)			事業番号	208									
予算事業名	生涯学習事業		事業開始年度	平成19年度									
事務事業名	放課後子ども教室事業		担当局・部名	教育委員会									
上位施策名	生涯学習推進体制の強化		担当課・課名	生涯学習課									
根拠法令等	法令に特に定めのないもの		グループ係名	社会教育G									
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)		作成責任者	大野秀喜									
実施の背景	平成19年度より「放課後子どもプラン」に基づき、創設された文部科学省の事業です。活動日は、平日・土日に関わらず、各3地区の実態に応じて実施しています。												
目的 (何をどうしたいのか)	全ての子どもたちを対象に、放課後や週末等に地域の施設を活用して、地域の方々の参画により、学習支援や文化活動等の様々な体験活動を提供し、子どもたちが地域の社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。												
対象 (誰・何を対象に)	市内小学生		対象者数 (全住民に対する割合)										
			1,628 人	(4.5 %)									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接 (補助先: 国3/1 県3/1 実施主体:) <input type="checkbox"/> その他()												
	事業内容 (手段、手法など)		事業費	活動指標									
平成26年度事業内容 (箇条書き)													
・ 地域独自の伝統文化活動の実施 (陶芸教室・書道教室・童太鼓教室)		285	千円	回数: 37									
・ 地域の大人や異年齢の子どもとの交流 (キックベースボール・ダンス・釣り)		53	千円	回数: 5									
運営委員会		20	千円	回数: 2									
陶芸室管理		726	千円										
関連事業 (同一目的事業等)													
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)								
	事業費合計	4,130 千円	1,551 千円	1,303 千円	1,080 千円								
事業費内訳 (平成26年度分)	・ 講師謝礼692,680円 ・ 傷害保険料4,050円 ・ 光熱水費370,482円 ・ 使用料32,400円 ・ 消耗品100,000円 ・ 工事費226,800円 ・ 清掃除草植木管理委託125,121円												
年度	27年度			26年度			25年度						
担当正職員	1.4	人	3,506 千円	0.8	人	1,932 千円	0.8	人	1,935 千円				
臨時職員等	0.0	人	千円	0.0	人	千円	0.0	人	千円				
人件費合計	1.4	人	3,506 千円	0.8	人	1,932 千円	0.8	人	1,935 千円				
総事業費	7,636 千円			3,483 千円			3,238 千円						
人件費比率	46%			55%			60%						
財源 内訳	年度	27年度			26年度			25年度			24年度		
	国県支出金	522 千円			314 千円			301 千円			384 千円		
	内容												
	地方債	千円			千円			千円			千円		
	その他特財	千円			千円			千円			千円		
	内容												
一般財源	3,608 千円			2,508 千円			1,303 千円			1,080 千円			
財源合計	4,130 千円			2,822 千円			1,604 千円			1,464 千円			

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		放課後子ども教室実施数		回	42 / 50 84%	40 / 50 80%	36 / 50 72%
		放課後子ども教室運営委員会の開催		回	2 / 2 100%	/	/
					/	/	/
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	実施回数	円	36,928	34,289
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	放課後や週末等に子どもたちに安心安全な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て子どもたちと共に勉強や文化活動、地域住民との交流活動の取組を実施する。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		放課後子ども教室参加人数		人	407 / 980 42%	451 / 471 96%	533 / 750 71%
					/	/	/
					/	/	/
		※平成28年度予算要望額(予定)				4,130	(千円)
次年度以降 事業の方向 性(課題・ 改善策)	課題	子どもの健全な育成のためには、居場所をつくることが重要であり、地域間の実施日数のばらつきや学習アドバイザー等の不足、市内交通手段が乏しいため対象となる児童が限定されてしまうことが問題点として挙げられる。					
	改善策	全児童が参加できるように、学校との日程時間の調整。 人材の発掘と育成安全性 方向性 土日、平日放課後とも、回数を増やしていく。					
比較参考値 (他自治体 での類似事 業の例な ど)	銚田市のみ行っていない。						
特記事項	放課後子ども教室の活動を促進することは、小学生の休日(土・日曜、祝日)に体験及び学習活動の場を提供・奨励することであり、行政が自ら行っていかなければならないと考える。						

事業シート (概要説明書)		事業番号	232										
予算事業名	団体補助事業	事業開始年度	H17年以前										
事務事業名	市スポーツ少年団事業補助金	担当局・部名	教育委員会										
上位施策名	生涯スポーツの促進	担当課・課名	スポーツ振興課										
根拠法令等	スポーツ基本法第34条	グループ係名	社会体育グループ										
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	磯山幸子										
実施の背景	スポーツ少年団は、子どもたちが自由時間に、地域社会で幅広いスポーツ活動を行う集団であり、スポーツをはじめとする様々な活動をおして、子どもたちの心身の発達を促し、生涯にわたってスポーツを楽しむ習慣や社会性を育みます。また、全国組織でもあるスポーツ少年団への補助は必要不可欠な事業である。												
目的 (何をどうしたいのか)	スポーツ少年団の普及と育成することで、青少年のスポーツ振興及び健全育成を進めるために、その事業費の一部を補助する。												
対象 (誰・何を対象に)	スポーツ少年団とは、スポーツを通じて、青少年の健全育成を目的とする社会教育団体を指す。スポーツ少年団と言った場合、通常は小学生を対象にしたものを指す。	対象者数 (全住民に対する割合)											
		1,647 人	(4.4 %)										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接] (補助先: 行方市スポーツ少年団 実施主体: 行方市スポーツ少年団) <input type="checkbox"/> その他()												
	事業概要												
事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標										
	各競技部大会運営費 (サッカー連盟、ミニバスケット連盟、剣道連盟、空手道連盟、ソフトテニス連盟、バレーボール連盟、野球連盟、ハンドボール連盟)	1,356 千円	9 競技 20 大会の実施										
	リレーマラソン大会の実施	233 千円	11/8、37 チームの参加										
	指導者講習会	97 千円	1/25、37 名の参加										
関連事業 (同一目的事業等)													
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)								
	事業費合計	2,850 千円	2,850 千円	2,850 千円	2,850 千円								
事業費内訳 (平成26年度分)	需用費	205,335	消耗品、印刷製本										
	役務費	69,181	郵送代										
コスト	使用料及び賃借料	199,441	県スポーツ大会時バス借上料、燃料代										
	事業費	1,912,366	各競技大会運営費、リレーマラソン大会、指導者講習会等										
	負担金	139,369	分担金、審判登録料										
	繰越金	324,308											
コスト	年度	27年度			26年度			25年度					
	担当正職員	0.7 人	2,392 千円	0.7 人	2,112 千円	0.8 人	3,008 千円						
	臨時職員等	0.3 人	540 千円	0.3 人	540 千円	0.3 人	540 千円						
	人件費合計	1.0 人	2,932 千円	1.0 人	2,652 千円	1.1 人	3,548 千円						
	総事業費		5,782 千円		5,502 千円		6,398 千円						
	人件費比率		51%		48%		55%						
財源内訳	年度	27年度			26年度			25年度			24年度		
	国県支出金		千円		千円		千円		千円				
	内容												
	地方債		千円		千円		千円		千円				
	その他特財		千円		千円		千円		千円				
	内容												
一般財源		2,850 千円		2,850 千円		2,850 千円		2,850 千円					
財源合計		2,850 千円		2,850 千円		2,850 千円		2,850 千円					

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
					達成率	達成率	達成率
					100%	100%	100%
		各競技部大会		大会	20 / 20	21 / 21	21 / 21
		リレーマラソン (25まで駅伝大会)		人数	185 / 185	228 / 228	222 / 222
		指導者講習会		回数	35 / 35	13 / 13	29 / 29
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	円			
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	市内スポーツ少年団の普及と育成することで、子どもたちがスポーツに関わりを持てる環境を整え、青少年の健全育成を図ることを目標とする。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
					達成率	達成率	達成率
		少年団団員数		人	493 /	565 /	593 /
		少年団指導者数		人	129 /	135 /	155 /
		団数		団	25 /	30 /	35 /
次年度以降 事業の方向 性(課題・ 改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) : 2,850 (千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統合により、スポーツ少年団単位団及び団員数が減少傾向にある。 ・大会等の行事が多いので、親がいけない子は、スポーツ少年団に加入できない。 ・単位団の代表者が毎年代わるので、なかなか自主運営できない。 ・会議等の自主運営にむけて・・・スポ少事務局に連盟会議の開催、事務等に関わっている連盟が9のち3ある。自主運営にむけて調整をし、事務の軽減に努める。 ・h31年茨城国体を見据え選手の発掘、強化をおこなう。一つ目として、H27年度より「新規競技活動補助」を実施する。これは、専門種目以外の競技に参加する場合に、競技大会等に参加するための費用として補助金を交付する。補助対象競技(陸上競技、駅伝大会、水泳競技)にスポーツ少年団として年間延べ10人以上の参加で年間30,000円補助する。この補助金はH27年度から31年度の5年間) また、H27年度より団員を対象としたスポーツテストを実施する。○今後、国や県のように体育協会を含めての公益財団法人化などが考えられるが、今現在そのような体制に至っていない。 						
	比較参考値 (他自治体 での類似事 業の例な ど)	<p>26年度 単位団数・団員数・加入率 補助金の使途</p> <p>鈴田市 35・654人 23% 850千円 ①育成費として各単位団上限2万円の補助 ②本部事業(オリエンテーリング)</p> <p>潮来市 12 387人 26% 335千円 ①市スポ少主催大会の会場運営費 ②全国大会出場補助 ③バス借上げ代補助</p> <p>※市体育協会内の一団体となっている。</p> <p>神栖市 33 1,104人 20% 2,455千円 ①加盟団体へ教室開催事業及び育成事業の補助 ②本部事業(合同入団式、駅伝大会)</p> <p>鹿嶋市</p>					
特記事項							

事業シート (概要説明書)			事業番号	229		
予算事業名	ブックスタート事業		事業開始年度	平成17年度		
事務事業名	ブックスタート		担当局・部名	教育委員会		
上位施策名	図書サービスの充実		担当課・課名	生涯学習課(図書館)		
根拠法令等	子どもの読書活動の推進に関する法律		グループ係名	図書館		
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)		作成責任者	市村哲雄		
実施の背景	社会情勢や家庭環境の変化により子育て環境も変化し、親子のふれあいの時間が減少している。赤ちゃんの言葉や心を育むためには、親子のふれあいの中で言葉を語りかけていくことが重要である					
目的 (何をどうしたいのか)	絵本をとおして、乳児と保護者がゆっくり向き合い、心触れ合うひとときを持つきっかけづくりと、家庭での良好な子育て環境を整えていけるよう支援することを目的とする。					
事業概要	対象 (誰・何を対象に)	6か月児健康相談事業の対象児及びその保護者		対象者数 (全住民に対する割合) 200組 400人 (1.1%)		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接 (補助先 : 実施主体 :) <input type="checkbox"/> その他				
	事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標		
	健康相談時、ブックスタートの趣旨を説明し、絵本の読み聞かせを行う。ブックスタートバックを配布する。	469千円	毎月1回開催 189組に配布			
	ボランティアによる読み聞かせ活動	30千円	12回開催			
関連事業 (同一目的事業等)	フォローアップ事業 (事業費なし) ボランティアによる乳幼児とその保護者への読み聞かせと親子で本と触れ合う場の提供。家庭での読み聞かせのアドバイス等を行う。					
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)	
	事業費合計	549千円	499千円	525千円	517千円	
	事業費内訳 (平成26年度分)	報償費 30,000円 需用費 469,906円				
	年度	27年度		26年度		25年度
担当正職員	0.3人	1,027千円	0.3人	907千円	0.3人	1,176千円
臨時職員等	0.0人		0.0人		0.0人	
人件費合計	0.3人	1,027千円	0.3人	907千円	0.3人	1,176千円
総事業費	1,576千円		1,406千円		1,701千円	
人件費比率	65%		65%		69%	
財源内訳	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)	
	国県支出金					
	内容					
	地方債					
	その他特財					
	内容					
一般財源	549千円	499千円	525千円	517千円		
財源合計	549千円	499千円	525千円	517千円		

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		ブックスタート事業		組	189 / 201	94%	202 / 203
		読み聞かせ会（フォローアップ事業）		人数	386 / 400	97%	372 / 420
		絵本の時間（フォローアップ事業）		人数	274 / 360	76%	171 / 360
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	読み聞かせ人数	円	3,642	4,576
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	絵本に触れ合うきっかけが生まれ、図書館利用者の増大を図る。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		児童の来館割合		人数	4925 / 5400	91%	4623 / 5600
	市内児童（3歳～12歳）数×2回における来館者割合			/	/	/	
				/	/	/	
次年度以降 事業の方向 性（課題・ 改善策）	<p>※平成28年度予算要望額（予定）： 600 (千円)</p> <p>課題：最初6ヶ月検診時にボランティアさんを依頼し、読み聞かせ等を行い読書推進活動を行うが、その後にフォローアップ事業として、絵本の時間やおはなし会を行うが参加者が減っていく。</p> <p>改善策：特に場所の問題が大きく市立図書館だけではなく、麻生・北浦公民館等での開催を検討していく。そのためには、ボランティアさんの育成が必要である。</p> <p>効果：赤ちゃんの6ヶ月検診の時にその親子を対象にボランティアさんによる絵本の読み聞かせを行い、赤ちゃんと保護者に絵本を通して心ふれあうひとときを持つきっかけを作る。親から子への読み聞かせをすることで、子どもの情操を豊かにし、親子の絆を深めることが出来る。また、これをきっかけに子どもの読書習慣の形成に繋がる。</p>						
	比較参考値 (他自治体 での類似事 業の例な ど)						
特記事項							

事業シート (概要説明書)		事業番号	80										
予算事業名	子育て支援事業		事業開始年度 平成11年度										
事務事業名	ストミック講座・各種教室事業		担当局・部名 保健福祉部										
上位施策名	子育て支援の強化		担当課・課名 子ども福祉課										
根拠法令等	行方市アタッチメント・ケア実施要綱 行方市子育て支援講座(教室)実施要綱		グループ係名 子育て支援G										
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)		作成責任者 鈴木 喜政										
実施の背景	主に未就学の児童を対象に、いろいろな文化に触れたり、体を動かしたり、見たり、聞いたりし感性を磨き、また子育て中の方たち同志との交流を図る。												
目的 (何をどうしたいのか)	育児ストレスや悩みの解消をし、家庭での子育てに生かすことができるように、就学前の子と保護者の交流をする場を提供する。												
対象 (誰・何を対象に)	主に未就学児。(未就学児童1324名) 事業により、対象者が異なる。		対象者数 (全住民に対する割合) 人 (%)										
	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :) <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : 実施主体 :) <input type="checkbox"/> その他 ()												
事業概要 事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)		事業費	活動指標									
	ス・トミック講座 (五感をみがく能力開発教育のひとつ)		15 千円	6回実施 延べ78名利用									
	親子教室		120 千円	10回実施 延べ922名利用									
	0歳児親子教室		90 千円	9回実施 延べ148名利用									
	アタッチメント・ケア (子供の成長につまづきのある家庭へのケア及び相談指導)		240 千円	12回実施 延べ47名利用									
関連事業 (同一目的事業等)													
コスト	年度	27年度 (予算)		26年度 (決算見込み)		25年度 (決算)		24年度 (決算)					
	事業費合計	620 千円		575 千円		539 千円		421 千円					
	事業費内訳 (平成26年度分)	ストミック講座講師謝礼 15千円 親子教室講師謝礼 120千円 0歳児親子教室講師謝礼 90千円 アタッチメントケア講師謝礼 240千円 保険料 110千円											
	年度	27年度				26年度				25年度			
	担当正職員	0.9	人	2,274	千円	0.9	人	2,372	千円	0.5	人	1,159	千円
	臨時職員等	0.0	人		千円	0.0	人		千円	0.0	人		千円
	人件費合計	0.9	人	2,274	千円	0.9	人	2,372	千円	0.5	人	1,159	千円
	総事業費	2,894 千円				2,947 千円				1,698 千円			
	人件費比率	79%				80%				68%			
	財源 内訳	年度	27年度 (予算)		26年度 (決算見込み)		25年度 (決算)		24年度 (決算)				
国県支出金													
内容													
地方債													
その他特財													
内容													
一般財源	2,894 千円		2,947 千円		1,698 千円		1,580 千円						
財源合計	2,894 千円		2,947 千円		1,698 千円		1,580 千円						

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度	
		実績 / 目標	達成率		実績 / 目標	達成率	実績 / 目標	達成率
		ストミック講座・各種教室参加者		人	1239 /	1366 /	1448 /	
					/	/	/	
					/	/	/	
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	円				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)							
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度	
		実績 / 目標	達成率		実績 / 目標	達成率	実績 / 目標	達成率
		ストミック講座・各種教室参加者			人	1239 / 1239	100%	1366 / 1366
					/	/	/	
					/	/	/	
次年度以降 事業の方向 性(課題・ 改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) : (千円)</p> <p>アタッチメントケアについて、現在療育指導的な事業になってしまっている。 行方市アタッチメント・ケア実施要綱によれば、障害や疾病等で子供の成長に不安を感じる家庭に対し、情報提供及び精神的なケアを目的として、個々の相談及び指導を行うこととしている。 実施要綱に従い、修正した場合現在行っている、療育指導的なものをどうするのか検討する必要がある。 就学までは、健康増進課で見ているが、その後繋ぐ部署が明確になっていない。</p>							
	比較参考値 (他自治体 での類似事 業の例な ど)							
特記事項								

事業シート (概要説明書)		事業番号	81							
予算事業名	子育て支援事業		事業開始年度	平成13年度						
事務事業名	子育て広場事業		担当局・部名	保健福祉部						
上位施策名	子育て支援の強化		担当課・課名	こども福祉課						
根拠法令等	行方市子育て講座(教室)実施要綱 行方市子育て広場実施要綱		グループ係名	子育て支援G						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)		作成責任者	鈴木 喜政						
実施の背景	親同士の交流や、子どもたちが大勢で遊べるような場を見出すことは難しくなっている。育児の不安や孤立した子育てが問題となる中、親子が出会い交流できる場が必要となっており、子ども同士、親同士、様々な人たちをつなぐ「架け橋」としての働きが期待される。									
目的 (何をどうしたいのか)	親同士の出会いと交流の場と子どもたちが自由に遊びかかわりあう場をつくり、親子・家庭・地域社会の交える場とする。									
対象 (誰・何を対象に)	未就学児童(1324名)とその親		対象者数(全住民に対する割合)							
			3,800 人	(10 %)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施									
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :)									
	<input type="checkbox"/> 補助金[<input type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : 実施主体 :)									
	<input type="checkbox"/> その他 ()									
事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容(箇条書き)		事業費		活動指標					
	子育て広場		1,528	千円	こどもを養育する家庭に対し、親子遊びの場及び親子のふれあいの場を提供					
				千円						
				千円						
				千円						
関連事業 (同一目的事業等)										
コスト	年度	27年度(予算)		26年度(決算見込み)		25年度(決算)		24年度(決算)		
	事業費合計	1,920 千円		1,528 千円		1,735 千円		1,641 千円		
	事業費内訳 (平成26年度分)	指導員報酬 1,528千円								
	年度	27年度			26年度			25年度		
	担当正職員	0.7	人	1,699 千円	0.7	人	1,661 千円	0.3	人	979 千円
	臨時職員等	0.0	人	千円	0.0	人	千円	0.0	人	千円
	人件費合計	0.7	人	1,699 千円	0.7	人	1,661 千円	0.3	人	979 千円
	総事業費	3,619 千円		3,189 千円		2,714 千円		2,620 千円		
	人件費比率	47%		52%		36%		%		
	財源 内訳	年度	27年度(予算)		26年度(決算見込み)		25年度(決算)		24年度(決算)	
国県支出金		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
内容										
地方債		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
その他特財		0 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
内容										
一般財源	3,619 千円		3,189 千円		2,714 千円		2,620 千円			
財源合計	3,619 千円		3,189 千円		2,714 千円		2,620 千円			

事業実績	【活動指標名】	単位	H26年度		H25年度		H24年度	
			実績 / 目標	達成率	実績 / 目標	達成率	実績 / 目標	達成率
活動実績	年間延べ利用者数	人	3250 /		4253 /		4009 /	
			/		/		/	
			/		/		/	
主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円) / 利用延べ児童数	円						
成果目標 (指標設定理由等)								
事業成果	【成果指標名】	単位	H26年度		H25年度		H24年度	
			実績 / 目標	達成率	実績 / 目標	達成率	実績 / 目標	達成率
成果 (目標達成状況)	年間延べ利用者数		3250 / 3250	100%	4253 / 4253	100%	4009 / 4009	100%
			/		/		/	
			/		/		/	
実績期間(月) / 目標設定期間(月)			/		/		/	
<p>※平成28年度予算要望額(予定) : (千円)</p> <p>1回数組の利用であり、SNS等を利用した柔軟に対応できる広報PRが必要。 包括的に、一貫した子育ての支援(相談)～交流の場が作れるような体制づくりをする。 個々の子どもの生活リズムにあわせ、いつ行っても開設しているようなの広場を目指す。</p>								
次年度以降 事業の方向 性(課題・ 改善策)								
比較参考値 (他自治体 での類似事 業の例な ど)								
特記事項								

事業シート (概要説明書)		事業番号	206						
予算事業名	成人式事業	事業開始年度	平成17年度						
事務事業名	成人式事業	担当局・部名	教育委員会						
上位施策名	生涯学習活動の促進	担当課・課名	生涯学習課						
根拠法令等	法令に特に定めのないもの	グループ係名	社会教育G						
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	大野秀喜						
実施の背景	昭和23年7月20日施行の「国民の祝日に関する法律」の中で、1月15日が成人式として定められ、その後、文部事務次官から出された通達の趣旨に沿って「成人式」として全国の自治体に広がった。								
目的 (何をどうしたいのか)	20歳の年齢に達した又は達する青年を祝福・激励し、これに対して参加者が責任ある自立した社会人として、より良い社会の創造に貢献していくことを決意し、それを広く社会に啓蒙することを目的とする。								
対象 (誰・何を対象に)	市内及び出身の新成人者	対象者数 (全住民に対する割合)							
		386 人	(1.08 %)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :)								
	<input type="checkbox"/> 補助金 [<input type="checkbox"/> 直接 ・ <input type="checkbox"/> 間接] (補助先 : 実施主体 :)								
	<input type="checkbox"/> その他 ()								
事業概要 事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標						
	成人式実行委員会の設置及び会議の開催	5 千円	実行委員14名 実行委員会3回						
	成人式式典・アトラクションの開催	61 千円	式典出席者318名						
	麻生藩家老屋敷において振袖撮影会の開催	38 千円	成人31名+家族						
	記念誌・アルバムの作成	475 千円	350部作成						
関連事業 (同一目的事業等)	高校生会育成事業 (式典の受付・高校生会OBが実行委員としている)								
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)				
	事業費合計	1,155 千円	579 千円	708 千円	609 千円				
	事業費内訳 (平成26年度分)	・報償費50,000円 ・印刷製本費490,608円 ・消耗品6,114円 ・食糧費8,408円 ・警備委託料24,300円							
	年度	27年度		26年度		25年度			
担当正職員	0.2 人	776 千円	0.3 人	1,006 千円	0.3 人	1,005 千円			
臨時職員等	0.0 人	千円	0.0 人	千円	0.0 人	千円			
人件費合計	0.2 人	776 千円	0.3 人	1,066 千円	0.3 人	1,005 千円			
総事業費	1,931 千円		2,590 千円		2,718 千円				
人件費比率	40%		63%		59%				
財源 内訳	年度	27年度		26年度		25年度		24年度	
	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
	内容								
	地方債	千円		千円		千円		千円	
	その他特財	千円		千円		千円		千円	
	内容								
一般財源	1,155 千円		579 千円		708 千円		609 千円		
財源合計	1,155 千円		579 千円		708 千円		609 千円		

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		成人式参加者数		人	318 / 386	82%	291 / 356
		成人式実行委員会		回	3 / 3	100%	3 / 3
					/		/
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	式典参加者対象者 (人)	円	4,106	4,811
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	成人式典参加者を増やし、参加者が責任ある自立した社会人として、より良い社会の創造に貢献していくことを決意し、それを広く社会に啓蒙する。					
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度	H25年度	H24年度
					実績 / 目標	実績 / 目標	実績 / 目標
		成人式参加率		%	82 / 100	82%	75 / 100
					/	/	/
					/	/	/
次年度以降 事業の方向 性(課題・ 改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) : 1,155 (千円)</p> <p>課題 今年に限ってではあるがマナーの悪い者が見受けられた。他の参加者の迷惑にならないよう対策が必要となる。 実行委員での企画・運営はスムーズに行うことが出来た。 家老屋敷での振袖撮影会は参加者が31名(昨年15名)と増加傾向にある。 警備員を増員し対応の強化、警察との連絡を密とする。 方向性 実行委員の人数を増やし、より充実した内容、新たな企画を取り入れていく。</p>						
	比較参考値 (他自治体 での類似事 業の例な ど)	近隣の市より成人式実行委員や式典について問い合わせがあり、内容は、他より充実している。					
特記事項	恩師を招いてのアトラクションや麻生藩家老屋敷にての振袖撮影会、実行委員による記念誌の作成						

事業シート (概要説明書)		事業番号					
予算事業名	青少年育成事業	事業開始年度	平成17年度				
事務事業名	青少年育成事業	担当局・部名	教育委員会				
上位施策名	青少年の活動促進	担当課・課名	生涯学習課				
根拠法令等		グループ係名	社会教育6				
事務区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 (該当する方をクリック)	作成責任者	大野秀喜				
実施の背景	青少年相談員の資質の向上と地域における青少年相談員活動の進展を図り、青少年の健全育成と非行防止に資する。						
目的 (何をどうしたいのか)	青少年相談員による、非行防止の啓発活動や有害環境の排除などを進め青少年の健全育成を促進する。						
対象 (誰・何を対象に)	市内在住の青少年 (おおむね18歳未満の者)	対象者数 (全住民に対する割合)					
		5,100 人	(14 %)				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input type="checkbox"/> 業務委託又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者 :)						
	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 直接・ <input type="checkbox"/> 間接 (補助先 : 実施主体 :)						
	<input type="checkbox"/> その他 ()						
事業内容 (手段、手法など)	平成26年度事業内容 (箇条書き)	事業費	活動指標				
	青少年相談員報酬	500 千円	相談員25名				
	キャンペーン (ヤング街頭キャンペーン、環境健全化啓発キャンペーン&あいさつ声掛け運動)	千円	2回				
	「青少年健全育成に協力する店」登録活動	千円	30店舗				
	巡回パトロール活動	千円	夏休み (祭礼時)、秋期、ウインターフェスタ時				
	研修会、講演会、情報交換会等への参加	121 千円					
	総会及び定例会	23 千円	4回				
関連事業 (同一目的事業等)							
コスト	年度	27年度 (予算)	26年度 (決算見込み)	25年度 (決算)	24年度 (決算)		
	事業費合計	980 千円	786 千円	816 千円	586 千円		
	事業費内訳 (平成26年度分)	報酬500千円 報償25千円 使用料121千円 食糧費23千円 消耗品70千円 負担金47千円					
	年度	27年度		26年度		25年度	
	担当正職員	0.3 人	1,009 千円	0.4 人	1,313 千円	0.4 人	8,773 千円
	臨時職員等	人	千円	人	千円	人	千円
	人件費合計	0.3 人	1,009 千円	0.4 人	1,313 千円	0.4 人	1,419 千円
	総事業費	1,989 千円	2,099 千円	2,235 千円			
	人件費比率	51%	%	63%	%	63%	%
	財源 内訳	年度	27年度	26年度	25年度	24年度	
国県支出金		千円	千円	千円	千円		
内容							
地方債		千円	千円	千円	千円		
その他特財		千円	千円	千円	千円		
内容							
一般財源	980 千円	938 千円	816 千円	586 千円			
財源合計	980 千円	938 千円	816 千円	586 千円			

事業実績	活動実績	【活動指標名】		単位	H26年度 実績 / 目標	達成率	H25年度 実績 / 目標	達成率	H24年度 実績 / 目標	達成率	
		相談員店舗訪問		件	30 / 36	83%	28 / 36	78%	24 / 35	69%	
		合同研修会講演会		回	3 / 3	100%	3 / 3	100%	2 / 3	67%	
	巡回バトロール活動		回	13 / 13	100%	16 / 16	100%	14 / 14	100%		
	主要な事業活動単位 当たりコスト	総事業費(円)	/	青少年数	円	411	438				
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	青少年育成に市民のすべてが関心をもち参加するよう勧める。									
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】		単位	H26年度 実績 / 目標	達成率	H25年度 実績 / 目標	達成率	H24年度 実績 / 目標	達成率	
		18歳未満の検挙数		件	5 / 0		8 / 0		5 / 0		
					/		/		/		
					/		/		/		
次年度以降 事業の方向 性(課題・ 改善策)	<p>※平成28年度予算要望額(予定) : 980 (千円)</p> <p>課題 青少年相談員の活動内容等は、まだまだ住民に認識されてない。 学校訪問等をし、児童・生徒・保護者・先生に相談員活動を認識して頂き、連携をとる。 少年関係他団体及び他市との情報交換の取り入れ。街頭キャンペーン実施</p>										
	比較参考値 (他自治体 での類似事 業の例な ど)	鹿行管内において同事業を実施している。									
特記事項	茨城県青少年相談員連絡協議会との連携により事業を進めている										